



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日
東

上場会社名 セイコーグループ株式会社 上場取引所
コード番号 8050 URL <https://www.seiko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 修司
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	62,949	1.4	2,823	△9.1	3,732	△8.0	2,411	41.2
2023年3月期第1四半期	62,078	13.7	3,105	105.3	4,056	126.4	1,707	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 9,130百万円(33.5%) 2023年3月期第1四半期 6,837百万円(263.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	58.43	—
2023年3月期第1四半期	41.40	41.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	367,533	139,361	37.3
2023年3月期	355,915	131,748	36.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 137,134百万円 2023年3月期 129,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	37.50	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	268,000	2.9	12,000	6.8	12,000	7.5	8,000	59.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名) ー 、除外 ー社(社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	41,404,261株	2023年3月期	41,404,261株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	108,122株	2023年3月期	132,337株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	41,275,959株	2023年3月期1Q	41,245,268株

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～6月30日)における世界経済は、高インフレが継続する中で、欧米諸国を中心とした金融引き締めが続いており、コロナ後の回復期を経て景気は減速基調となっています。中国経済もゼロコロナ政策下での厳しい活動制限や感染拡大で減速した昨年末の状況からは持ち直したものの、引き続き不動産投資が落ち込むなど、先行きは不透明な状況です。

わが国の経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことやインバウンド消費が急回復に向かうなかで、大都市圏を中心に回復基調となっています。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期 累計期間(a)	2023年3月期 第1四半期 累計期間(b)	2024年3月期 第1四半期 累計期間①	前々年同期 増減 ①ー(a)	前年同期 増減 ①ー(b)
売上高	54,609	62,078	62,949	8,340	870
営業利益	1,512	3,105	2,823	1,311	△281
%	2.8%	5.0%	4.5%	1.7pt	△0.5pt
経常利益	1,791	4,056	3,732	1,940	△324
%	3.3%	6.5%	5.9%	2.6pt	△0.6pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	53	1,707	2,411	2,358	703
%	0.1%	2.8%	3.8%	3.7pt	1.0pt
換算レート					
USD(円)	109.5	129.7	137.5	28.0	7.8
EUR(円)	131.9	138.3	149.6	17.7	11.3

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業では、国内市場向けのウオッチ事業、和光事業がインバウンド需要を背景に大きく売上高を伸ばし、海外市場向けのウオッチ事業も欧州、アジア地域を中心に売上高は前年同期を上回りました。デバイスソリューション事業は、中国経済の低迷、HDDの市場在庫調整、半導体市況の低迷等、昨年度第3四半期から悪化した事業環境の回復が見込まれない中、売上高は前年同期を大きく下回りました。システムソリューション事業は多角化やストックビジネス拡大への取組みが引き続き奏功して、前年同期を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、629億円(前年同期比1.4%増)となりました。

連結全体の国内売上高は328億円(同6.3%増)、海外売上高は301億円(同3.4%減)となり、海外売上高割合は47.9%でした。

当第1四半期連結累計期間の広告宣伝販促費は前年同期に対して約9%増加し、販売費及び一般管理費は前年同期から15億円の増加となりました。営業利益は、デバイスソリューション事業の減速により前年同期から2億円悪化し28億円(同9.1%減)となりました。営業外収支が替差益の減少等により前年同期から悪化し、経常利益は前年同期を3億円下回る37億円(同8.0%減)となりました。前期に計上した感染症拡大に伴う損失や法人税等調整額の減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億円増加の24億円(同41.2%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは1米ドル137.5円、1ユーロ149.6円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

① エモーショナルバリューソリューション事業（EVS事業）

EVS事業の売上高は前年同期比32億円増加の423億円（前年同期比8.4%増）となりました。

国内のウォッチは、回復基調が鮮明となったインバウンド需要を背景に「グランドセイコー」、「セイコープロスペックス」などのグローバルブランドの新製品が好調に推移し、前年同期から売上高を伸ばしました。また海外でも、グローバルブランドが米国、欧州、アジアで「セイコープロスペックス」「セイコー5スポーツ」などを中心に伸ばし、中国の回復が遅れているものの、売上高は前年同期から増加しました。ウォッチムーブメントの外販ビジネスにつきましては、中国経済の低迷を受け、売上高は前年同期から減少しました。

和光事業の売上高はインバウンド需要の回復に伴い前年同期と比べ大きく伸ばしましたが、クロック事業は海外向けで中国経済の低迷を受け、売上高は前年同期から減少しました。

営業利益は前年同期から10億円増加し34億円（同45.0%増）となりました。

② デバイスソリューション事業（DS事業）

DS事業は売上高139億円（前年同期比15.8%減）、営業利益1億円（同90.3%減）となりました。

中国経済の低迷、HDDの市場在庫調整、半導体市況の低迷等により、サーマルプリンタを始め、水晶、半導体製造装置向けの高機能金属、精密部品等が低迷し、前年同期から大幅な減収減益となりました。

③ システムソリューション事業（SS事業）

SS事業の売上高は前年同期比1億円増加の93億円（前年同期比2.0%増）、営業利益は前年同期比99百万円増加の10億円（同10.1%増）となりました。

デジタル化や法改正を捉えた電子契約関連のビジネスが伸ばし、性能管理・セキュリティ関連ビジネスなどデジタルインフラを支える事業も拡大したことなどにより、29四半期連続で対前年同四半期比増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,675億円となり、前年度末に比べて、為替による影響も含め116億円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が22億円減少する一方、棚卸資産が55億円増加したことなどにより、流動資産合計は前年度末より28億円増加し1,762億円となりました。固定資産では、有形固定資産が38億円、無形固定資産が1億円、投資その他の資産が47億円増加したことから、固定資産合計は前年度末と比べ88億円増加の1,913億円となりました。

(負債)

負債につきましては、短期借入金が23億円増加、長期借入金30億円減少し、借入金合計は1,315億円となりました。未払金が24億円減少したほか、支払手形及び買掛金が21億円、繰延税金負債が13億円増加したことなどにより、負債合計は前年度末と比べ、為替による影響も含め40億円増加の2,281億円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、株主資本が8億円増加し、また、為替換算調整勘定が38億円増加したことなどから、合計でも前年度末と比べ76億円増加の1,393億円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間では、EVS事業が前年同期と比べ増収増益となる一方で、DS事業は減収減益となりました。第2四半期以降につきましても、EVS事業は引き続き順調に推移する見通しですが、DS事業の事業環境の回復は遅れる見込みです。以上を踏まえ、通期連結業績予想についての修正は行わないものの、通期セグメント別業績予想については下記のとおり修正いたします。

【通期連結業績予想】

売上高	2,680億円	(前年比	2.9%増)
営業利益	120億円	(前年比	6.8%増)
経常利益	120億円	(前年比	7.5%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	80億円	(前年比	59.1%増)
1株当たり当期純利益	193.75円		

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
エモーショナルバリューソリューション事業	1,770	1,750	140	130
デバイスソリューション事業	630	650	36	48
システムソリューション事業	390	390	50	48
事業別合計	2,790	2,790	226	226
その他	10	10	1	1
連結合計	2,680	2,680	120	120

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去等、連結調整後の数値です。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,324	34,114
受取手形、売掛金及び契約資産	38,647	37,725
棚卸資産	83,776	89,373
未収入金	6,577	6,787
その他	9,381	9,606
貸倒引当金	△1,297	△1,392
流動資産合計	173,410	176,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,280	81,044
機械装置及び運搬具	86,117	88,859
工具、器具及び備品	39,233	40,719
その他	12,699	15,411
減価償却累計額	△163,232	△167,591
土地	54,182	54,364
建設仮勘定	2,867	2,238
有形固定資産合計	111,149	115,046
無形固定資産		
のれん	6,901	6,602
その他	8,620	9,092
無形固定資産合計	15,522	15,694
投資その他の資産		
投資有価証券	45,490	49,636
繰延税金資産	1,923	1,930
その他	8,572	9,172
貸倒引当金	△153	△162
投資その他の資産合計	55,833	60,576
固定資産合計	182,505	191,318
資産合計	355,915	367,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,790	20,947
電子記録債務	6,212	7,090
短期借入金	72,598	75,359
1年内償還予定の社債	300	300
1年内返済予定の長期借入金	22,117	21,692
未払金	11,344	8,925
未払法人税等	1,793	1,652
賞与引当金	4,879	2,835
その他の引当金	1,452	1,450
資産除去債務	9	-
その他	22,659	25,350
流動負債合計	162,157	165,605
固定負債		
長期借入金	37,525	34,524
繰延税金負債	4,285	5,664
再評価に係る繰延税金負債	3,614	3,614
その他の引当金	742	658
退職給付に係る負債	6,894	6,929
資産除去債務	1,079	1,094
その他	7,867	10,080
固定負債合計	62,009	62,566
負債合計	224,166	228,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,245	7,245
利益剰余金	81,520	82,376
自己株式	△248	△210
株主資本合計	98,517	99,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,464	14,408
繰延ヘッジ損益	△9	△245
土地再評価差額金	8,190	8,190
為替換算調整勘定	10,638	14,439
退職給付に係る調整累計額	992	930
その他の包括利益累計額合計	31,275	37,723
非支配株主持分	1,956	2,226
純資産合計	131,748	139,361
負債純資産合計	355,915	367,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	62,078	62,949
売上原価	35,880	35,442
売上総利益	26,197	27,506
販売費及び一般管理費	23,092	24,682
営業利益	3,105	2,823
営業外収益		
受取利息	27	93
受取配当金	390	507
持分法による投資利益	370	339
為替差益	553	458
その他	211	214
営業外収益合計	1,554	1,613
営業外費用		
支払利息	233	320
その他	369	384
営業外費用合計	603	705
経常利益	4,056	3,732
特別損失		
感染症拡大に伴う損失	109	-
特別損失合計	109	-
税金等調整前四半期純利益	3,947	3,732
法人税等	2,102	1,130
四半期純利益	1,844	2,601
非支配株主に帰属する四半期純利益	136	190
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,707	2,411

四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,844	2,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	679	3,010
繰延ヘッジ損益	△374	△235
為替換算調整勘定	4,475	4,323
退職給付に係る調整額	△6	△95
持分法適用会社に対する持分相当額	218	△474
その他の包括利益合計	4,992	6,528
四半期包括利益	6,837	9,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,630	8,859
非支配株主に係る四半期包括利益	207	270

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ onalバ リ ュー ン シ ョ ン 事 業	デ バ イ ス ソ リ ュー ン 事 業	シ ス テ ム ソ リ ュー ン 事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,332	15,215	8,327	61,875	98	61,974	104	62,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	697	1,317	812	2,826	158	2,985	△2,985	—
計	39,030	16,532	9,139	64,702	257	64,959	△2,881	62,078
セグメント利益	2,405	1,782	978	5,166	47	5,213	△2,108	3,105

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額104百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティ収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△2,108百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等△26百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,940百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ onalバ リ ュー ン シ ョ ン 事 業	デ バ イ ス ソ リ ュー ン 事 業	シ ス テ ム ソ リ ュー ン 事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	41,655	12,683	8,407	62,746	97	62,843	105	62,949
セグメント間の内部 売上高又は振替高	665	1,240	912	2,818	171	2,990	△2,990	—
計	42,320	13,923	9,320	65,564	269	65,834	△2,884	62,949
セグメント利益	3,487	172	1,077	4,737	56	4,794	△1,970	2,823

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額105百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティ収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△1,970百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等72百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,900百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。